

科 目	必・選	担 当 教 員	学 年 ・ 学 科	単 位 数	授 業 形 態						
環境都市工学通論 (Survey of Civil Engineering)	必	辻原 治	1 年 生 環境都市工学科	1	半期 週 2 時間						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・建設系技術者への夢をもつべく、下記のような授業により、環境都市工学の使命を認識し、修得させる。 ・各テーマについて自ら調べ学習させる。 										
到達目標	環境都市工学の枠組みと各テーマの概要が理解できる。(A) テーマについてインターネットや資料を調べて適切に回答できる。(A)										
評価方法	基本的な定期試験(60%)、演習・レポート等(40%)で評価する。 合計60点以上の評価で合格とする										
教科書等	環境・都市システム系 教科書シリーズ 1 シビルエンジニアリングの第一歩、澤孝平他、コロナ社										
内 容					学習・教育目標						
第 1 週	シラバスの説明, 環境都市工学とは				A						
第 2 週	環境都市工学科卒業後の仕事				A						
第 3 週	橋梁				A						
第 4 週	"				A						
第 5 週	河川				A						
第 6 週	"				A						
第 7 週	地盤				A						
第 8 週	"				A						
第 9 週	建設材料				A						
第10 週	"				A						
第11 週	都市計画と環境問題				A						
第12 週	"				A						
第13 週	"				A						
第14 週	防災				A						
第15 週	"				A						
第16 週											
第17 週											
第18 週											
第19 週											
第20 週											
第21 週											
第22 週											
第23 週											
第24 週											
第25 週											
第26 週											
第27 週											
第28 週											
第29 週											
第30 週											
(特記事項)	JABEEとの関連										
	JABEE	a	b	c	d-1	d2a)d)	d2b)c)	e	f	g	h
	本校の学習 ・教育目標	A	A	C	C	C	B	B	D	B	C

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。)

環境都市工学通論 1年生

第1週

環境都市工学の枠組みについて説明する。

第2週

環境都市工学科卒業後の進路について説明する。

第3～15週

これから環境都市工学科で学習していく以下の主な各テーマの概要を説明し、課題についてインターネットなどを使って調べ、理解を深める。

- ・ 橋梁
- ・ 河川
- ・ 地盤
- ・ 建設材料
- ・ 都市計画
- ・ 環境問題
- ・ 防災